



社会福祉大会で7人表彰

長年の社会貢献をたたえて

市社会福祉協議会主催の第15回御前崎市社会福祉大会が2月16日、文化会館で開かれました。社会福祉活動に貢献した保護司や福祉施設職員、ボランティアら7人が表彰され、同協議会と県共同募金会に多額の浄財を寄付した22の団体・企業には感謝状が贈られました。

【受賞者】下村悦子、埋田千恵子、植田好子、澤入喜美子、大石輝美、岡村正子、樽松俊一（敬称略）



市民講座で健康を考える

腸と肝臓から元気へつなげよう

第25回御前崎市民公開講座が2月16日、市立御前崎総合病院で開かれ、約180人が参加しました。「腸と肝臓を知ろう！」をテーマに、市立御前崎総合病院内科医師 鮫島庸一先生と、磐田市立総合病院副院長兼肝臓内科部長 小林良正先生が講師を務めました。参加者は、お茶と魚は腸や脳にも効く話や、肝臓についてのお話を熱心に聞き、健康に長生きするための知識を深めました。

信頼される団体目指して

市民活動スキルアップ講座開催

第3回市民活動スキルアップ講座が3月7日、市役所で実施されました。NPO・市民活動団体・自治体職員・地域活動に関心のある人など、誰でも参加できる講座で、市民活動の推進に必要となるスキルや知識を身に付けることが目的です。未来化プロジェクトの川端務夢理事が「『団体の基盤強化』『社会に信頼されるNPOとは』」をテーマに講演。団体の資金調達を知る機会となりました。



インバウンド誘客を学ぶ

2019年のチャンス逃さない

御前崎港客船誘致協議会主催のインバウンド誘客トレーニング講座が3月8日、なぶら館で実施されました。市内事業者の収益向上、機運醸成を図るもので、第2回となる今回は約20人が参加しました。「ラグビーワールドカップ」「客船誘致」に合わせて、2人の講師がそれぞれ観光＋食の商品開発の成功事例を紹介。参加者は港を生かしたまちづくりについて考えました。